

2016年3月期第1四半期 決算説明会

2015年7月31日
株式会社トプコン
代表取締役社長 平野 聡

2016年3月期第1四半期 決算説明会

I

2016年3月期第1四半期決算報告

II

2016年3月期通期計画

III

参考資料

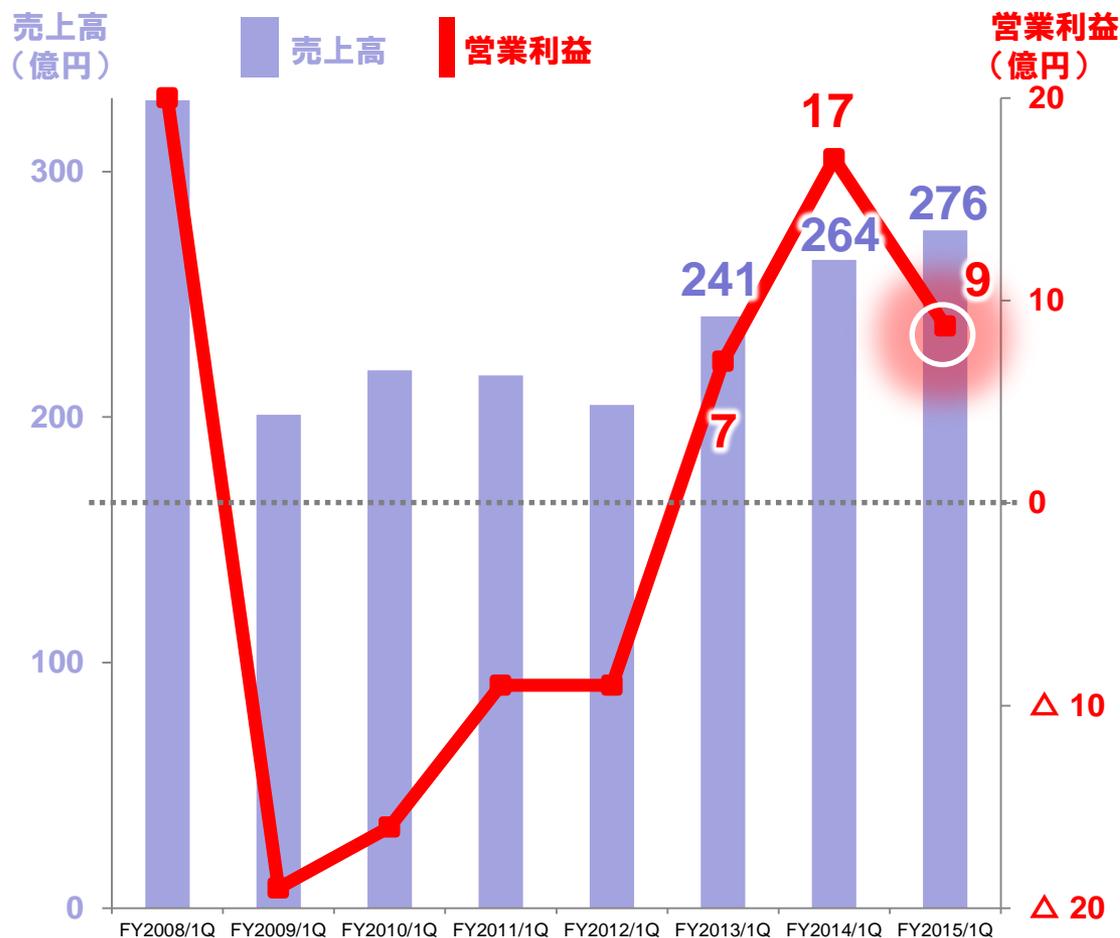
I. 2016年3月期 第1四半期決算報告

I-1. 2016年3月期第1四半期決算報告

I-2. カンパニー別状況

トピック <増収するも一時的停滞、将来投資は継続>

1Q業績推移



増収基調にあるも 収益は踊り場

POC

- ・IT農業は穀物価格下落に伴う一時的停滞。
- ・積極的投資は継続。

SIC・ECC

- ・1QはERP導入の混乱あるも、2Q以降は回復を見込む。

FY2015 1Q実績 <増収するも一時的停滞>

(単位:百万円)

[連結]	FY2014/1Q		FY2015/1Q	
		実績	実績	前年同期比
売上高		26,354	27,593	1,239
売上総利益 (売上総利益率)		13,562 (51.5%)	14,630 (53.0%)	1,068
販管費		11,826	13,756	1,930
営業利益 (営業利益率)		1,735 (6.6%)	874 (3.2%)	△861
営業外損益		△283	△83	200
経常利益		1,452	790	△662
特別損益		-	-	-
税引前利益		1,452	790	△662
四半期純利益*1		1,015	249	△766
為替 換算レート (期中平均)	USD	102.14 円	121.34 円	19.20 円
	EUR	140.01 円	133.86 円	△6.15 円

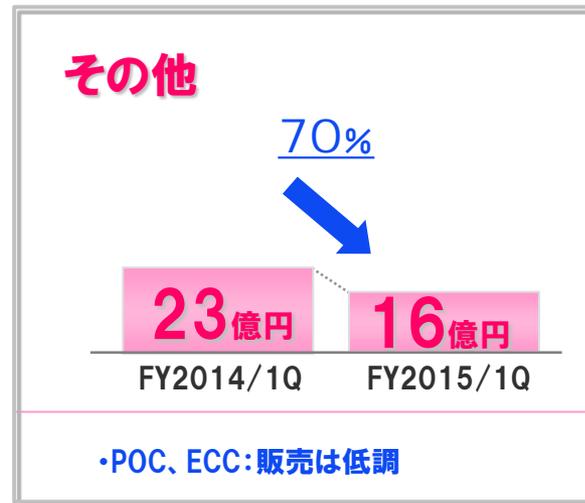
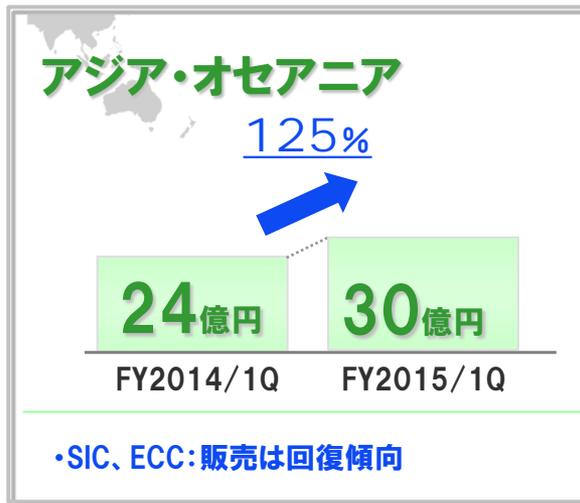
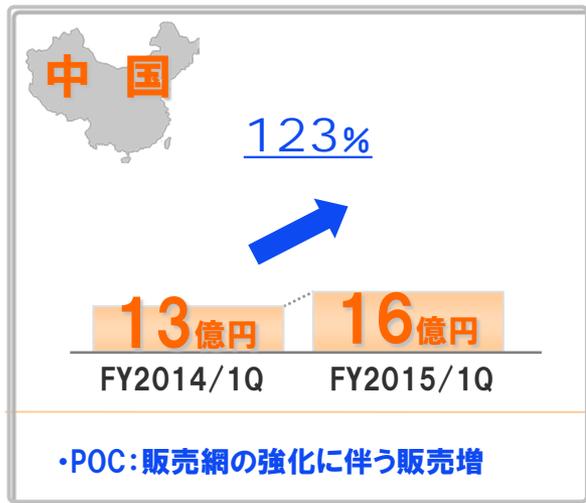
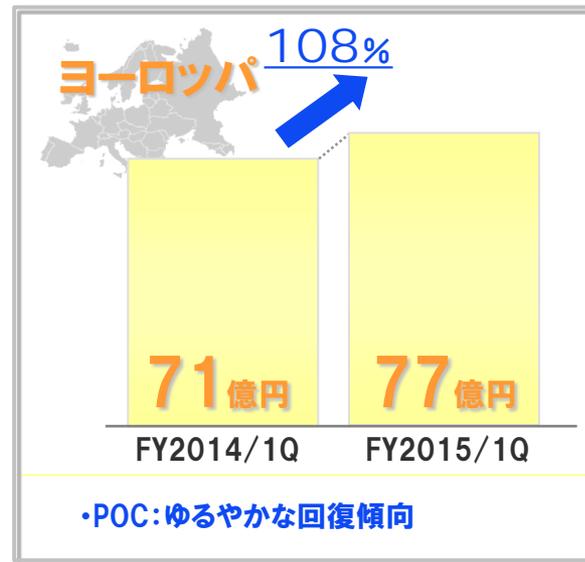
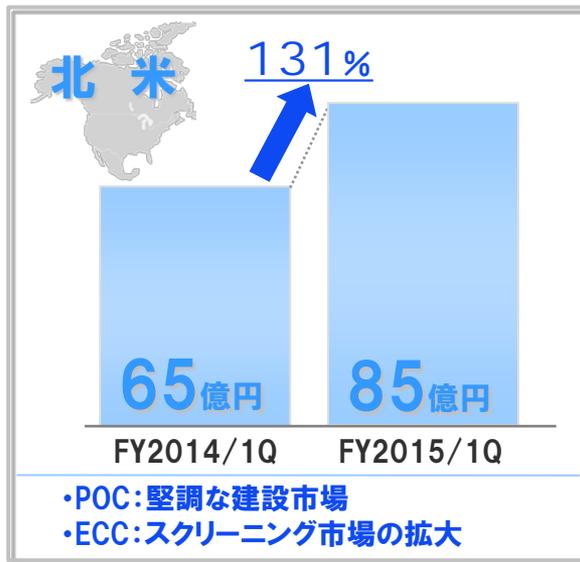
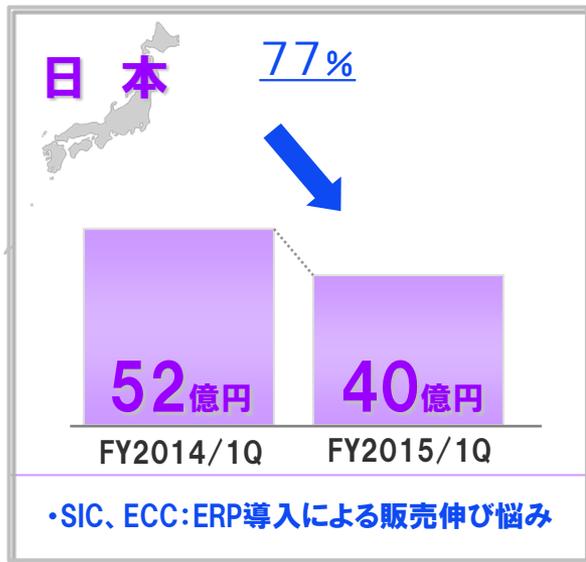
*1 会計基準の改正により、連結財務諸表では「親会社株主に帰属する四半期純利益」と記載されています。

FY2015 1Qカンパニー別実績 <カンパニーは増収>

(単位:百万円)

[連結]		FY2014/1Q	FY2015/1Q	
		実績	実績	前年同期比
売上高	ポジショニング	13,046	14,386	1,340
	スマートインフラ	6,757	7,086	329
	アイケア	7,900	7,887	△13
	その他	1,250	1,203	△47
	消去	△2,601	△2,969	△368
	合計	26,354	27,593	1,239
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	1,163 (8.9%)	647 (4.5%)	△516
	スマートインフラ	832 (12.3%)	410 (5.8%)	△422
	アイケア	296 (3.7%)	468 (5.9%)	172
	その他	△125 (△10.0%)	△69 (△5.7%)	56
	調整	△431	△582	△151
	合計	1,735 (6.6%)	874 (3.2%)	△861

国内・海外売上高（前年同期比） <欧米、中国・アジアは堅調>



• “その他”を除いた売上高

• POC=ポジショニング・カンパニー、SIC=スマートインフラ・カンパニー、ECC=アイケア・カンパニー

I. 2016年3月期 第1四半期決算報告

I-1. 2016年3月期第1四半期決算報告

I-2. **カンパニー別状況**

(単位:百万円)

	FY2014/1Q 実績	FY2015/1Q 実績	前年同期比(%)
売上高	13,046	14,386	110%
営業利益 (営業利益率)	1,163 (8.9%)	647 (4.5%)	56%

1Q業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- 北米市場のICT自動化施工の売上伸長 (前年同期比105%)

- ネガティブ・ファクター

- 農業市場の停滞 (一時的な穀物価格の下落)
- IT農業の販売減による想定外の粗利減

(単位:百万円)

	FY2014/1Q 実績	FY2015/1Q 実績	前年同期比(%)
売上高	6,757	7,086	105%
営業利益 (営業利益率)	832 (12.3%)	410 (5.8%)	49%

1Q業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- 国内ICT自動化施工システムの販売伸長 (前年同期比 150%)
- アジア市場で高まる省力化・効率化製品の需要 (前年同期比 150%)

- ネガティブ・ファクター

- ERP導入時の一時的混乱による販売伸び悩み
- 開発費の一時的増加 (2Q以降の新製品投入)

(単位:百万円)

	FY2014/1Q 実績	FY2015/1Q 実績	前年同期比(%)
売上高	7,900	7,887	100%
営業利益 (営業利益率)	296 (3.7%)	468 (5.9%)	158%

1Q業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- スクリーニング市場向け眼底カメラ伸長 (前年同期比125%)
- 米国市場向け販売伸長 (前年同期比130%)
- DRI OCT Triton/3D OCT Maestroの堅調な販売

- ネガティブ・ファクター

- ERP導入時の一時的混乱による販売伸び悩み

II. 2016年3月期通期計画

II-1. 2016年3月期通期計画

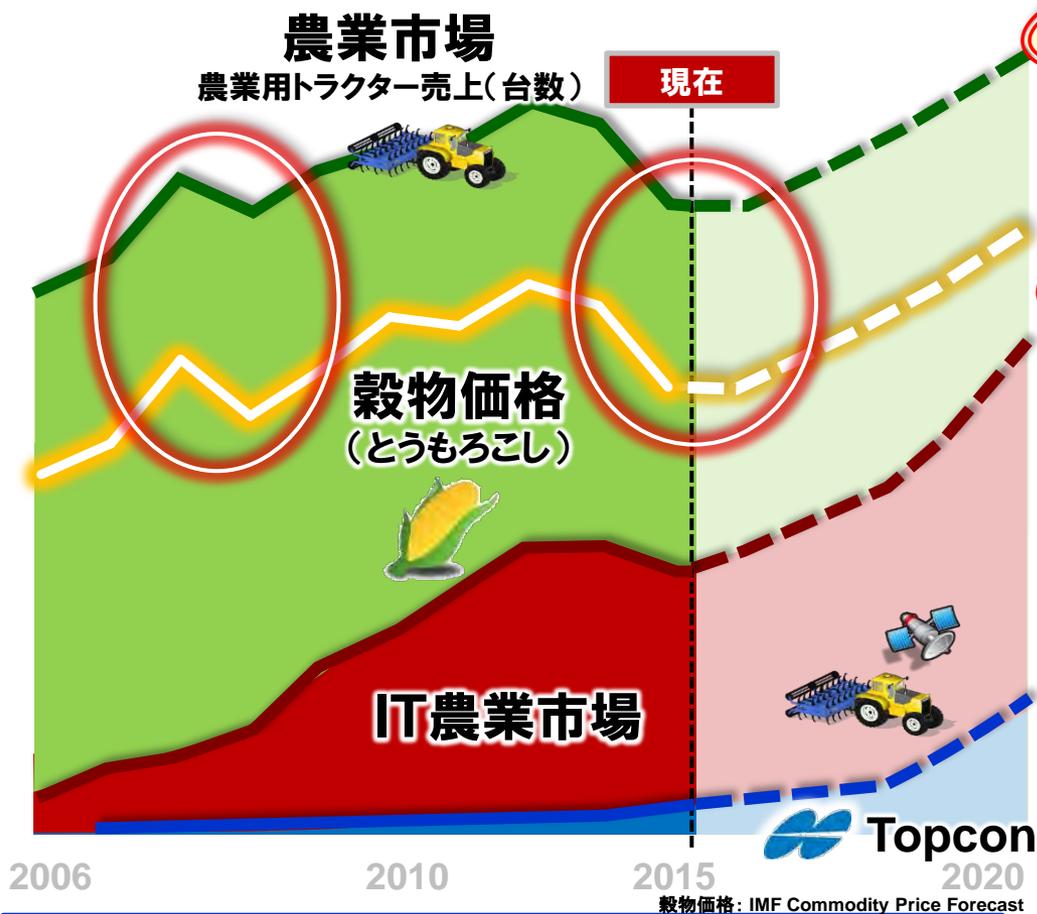
II-2. 2Q以降の注力事項

II-3. まとめ

経営環境の変化 <IT農業の一時的な停滞>

穀物価格と農業市場推移

農業市場は穀物価格に連動して推移



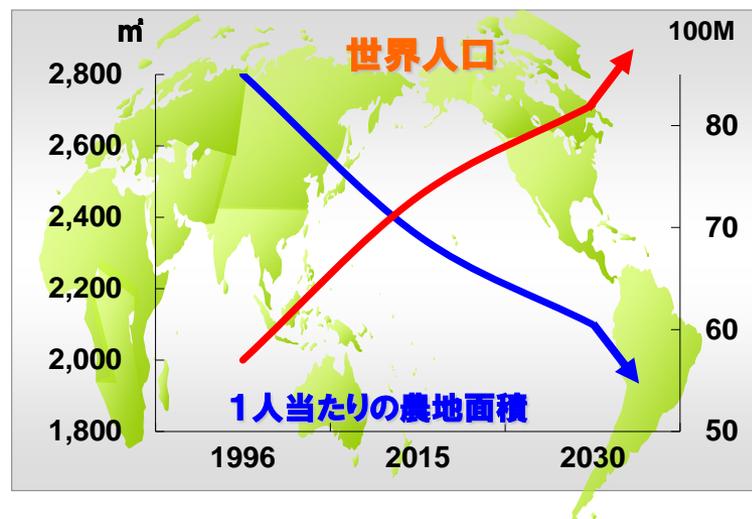
短期

穀物価格下落による
農業市場の一時的な停滞

However
されど

中長期

食糧問題を背景に
IT農業市場は確実に伸長する



一部の穀物相場には回復の兆しがあるが、
市場全体は見通しづらい状況

通期計画の見直し

FY2015 通期計画 <増収増益>

(単位: 百万円)

[連結]		FY2014		FY2015					
		第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計			通期		
		実績	実績	新計画	修正額	前年同期比 (%)	新計画	修正額	前年度比 (%)
売上高		59,402	128,569	67,000	0	113%	150,000	0	117%
営業利益 (営業利益率)		5,905 (9.9%)	16,041 (12.5%)	6,000 (9.0%)	△1,500	102%	19,000 (12.7%)	△3,000	118%
経常利益		5,640	14,880	5,700	△1,100	101%	17,500	△3,000	118%
当期純利益*1		3,489	8,670	3,100	△1,000	89%	10,800	△2,000	125%
ROE			14.8%				17%		
ROIC			10.9%				13%		
配当		8円	16円	12円			24円		
為替換算 レート*2 (期中平均)	USD	103.51円	110.03円	118.62円			116.95円		
	EUR	139.07円	138.68円	132.21円			131.19円		

*1 会計基準の改正により、財務諸表では「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載されています。

*2 為替レートは7月以降115円/ドル、130円/ユーロを前提としております

FY2015 通期計画（カンパニー別） <増収増益>

(単位: 百万円)

[連 結]		FY2014		FY2015					
		第2四半期累計	通期	第2四半期累計			通期		
		実績	実績	新計画	修正額	前年同期比 (%)	新計画	修正額	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	27,383	58,672	32,000	△3,000	117%	72,000	△2,000	123%
	スマートインフラ	15,639	33,909	19,000	2,000	122%	42,000	1,000	124%
	アイケア	18,582	41,240	21,000	1,000	113%	47,000	1,000	114%
	その他	3,493	6,558	2,500	0	72%	5,000	0	76%
	消去	△5,697	△11,812	△7,500			△16,000		
	合計	59,402	128,569	67,000	0	113%	150,000	0	117%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,929 (10.7%)	6,652 (11.3%)	2,500 (7.8%)	△2,000	85%	7,500 (10.4%)	△3,000	113%
	スマートインフラ	2,242 (14.3%)	5,965 (17.6%)	2,500 (13.2%)	500	112%	7,000 (16.7%)	0	117%
	アイケア	1,462 (7.9%)	5,093 (12.3%)	2,000 (9.5%)	0	137%	6,500 (13.8%)	0	128%
	その他	136 (3.9%)	163 (2.5%)	200 (8.0%)	0	147%	400 (8.0%)	0	245%
	調整	△866	△1,833	△1,200			△2,400		
	合計	5,905 (9.9%)	16,041 (12.5%)	6,000 (9.0%)	△1,500	102%	19,000 (12.7%)	△3,000	118%

II. 2016年3月期通期計画

II-1. 2016年3月期通期計画

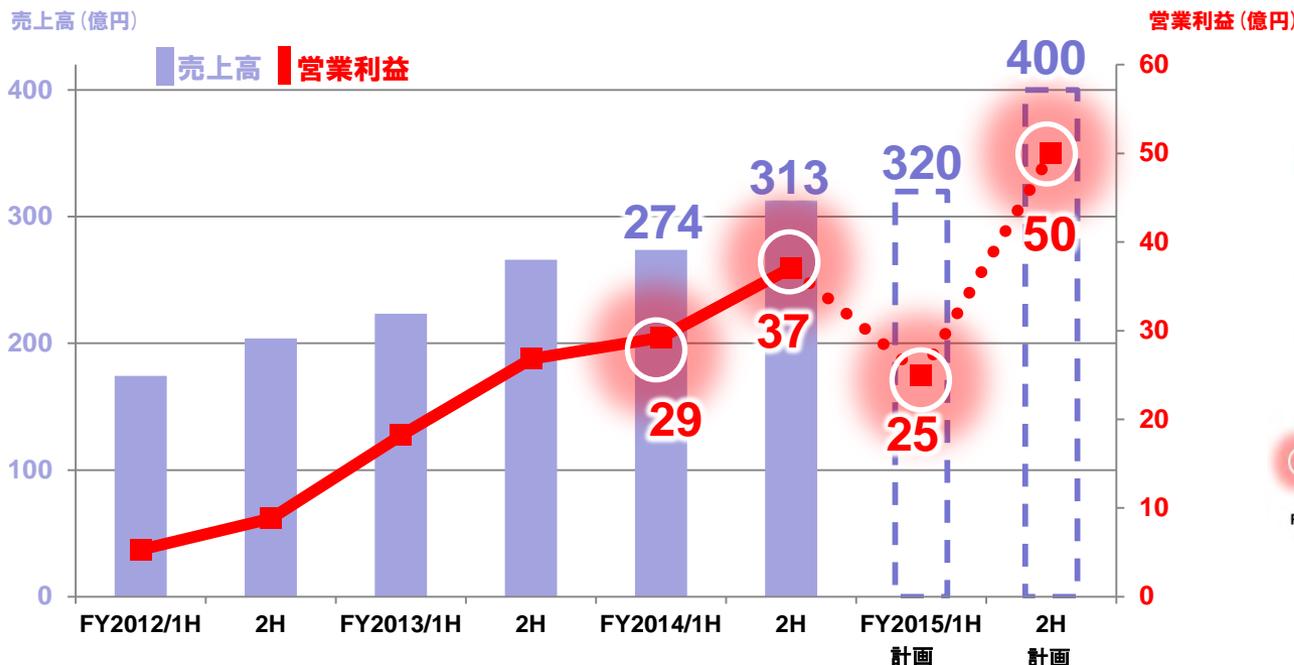
II-2. 2Q以降の注力事項

II-3. まとめ

1. ポジショニング

注力事項

- IT農業： M&Aで取得した先進技術との融合製品投入によるシェアアップ
- ICT自動化施工： 堅調な北米建設市場での売上拡大

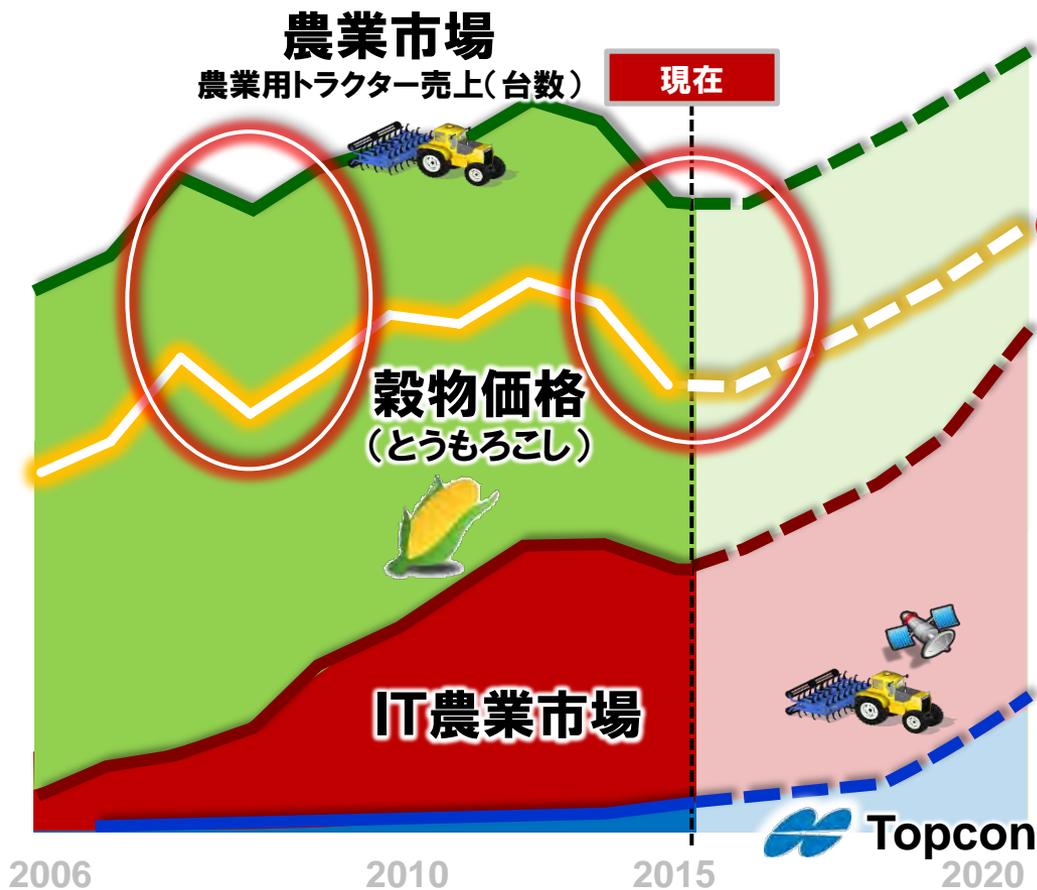


ドッジコンストラクション指標



米国コンストラクション投資額推移

穀物価格と農業市場推移



農業市場は穀物価格に連動して推移

短期

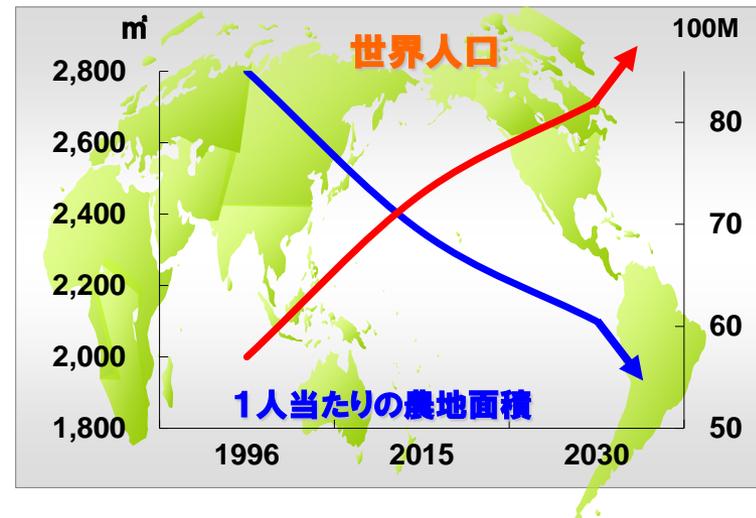
穀物価格下落による
農業市場の一時的な停滞



However
されど

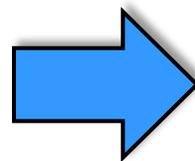
中長期

食糧問題を背景に
IT農業市場は確実に伸長する



投資のシナジー

トプコン独自の技術と
新たな先進技術の融合



革新的製品 創出



ポートフォリオの充実

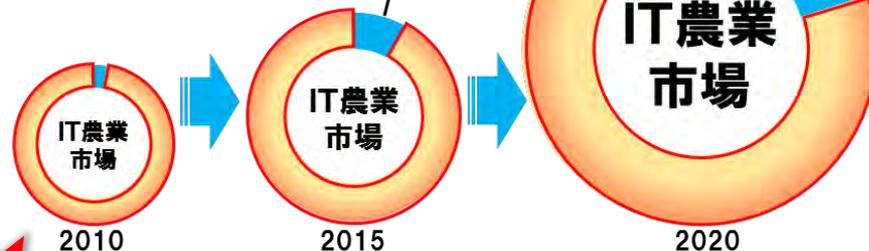


**革新的製品の投入により
シェア拡大**

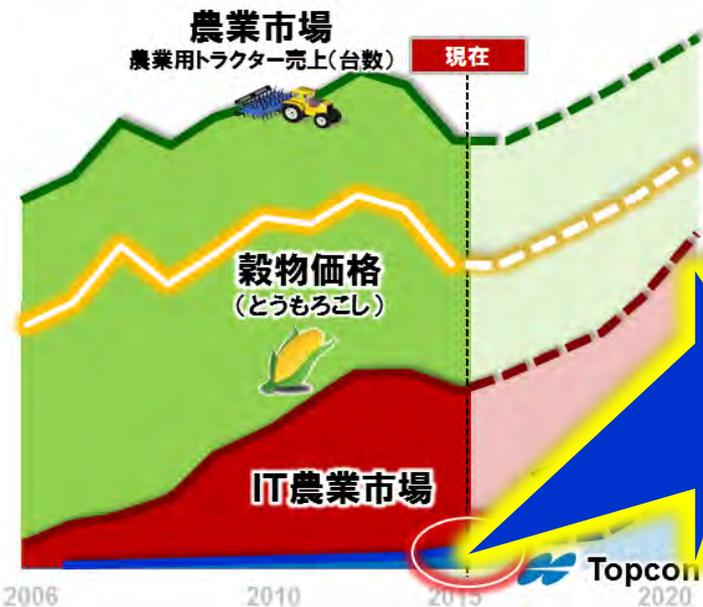
大きな成長の可能性

IT農業シェア推移

トップシェア

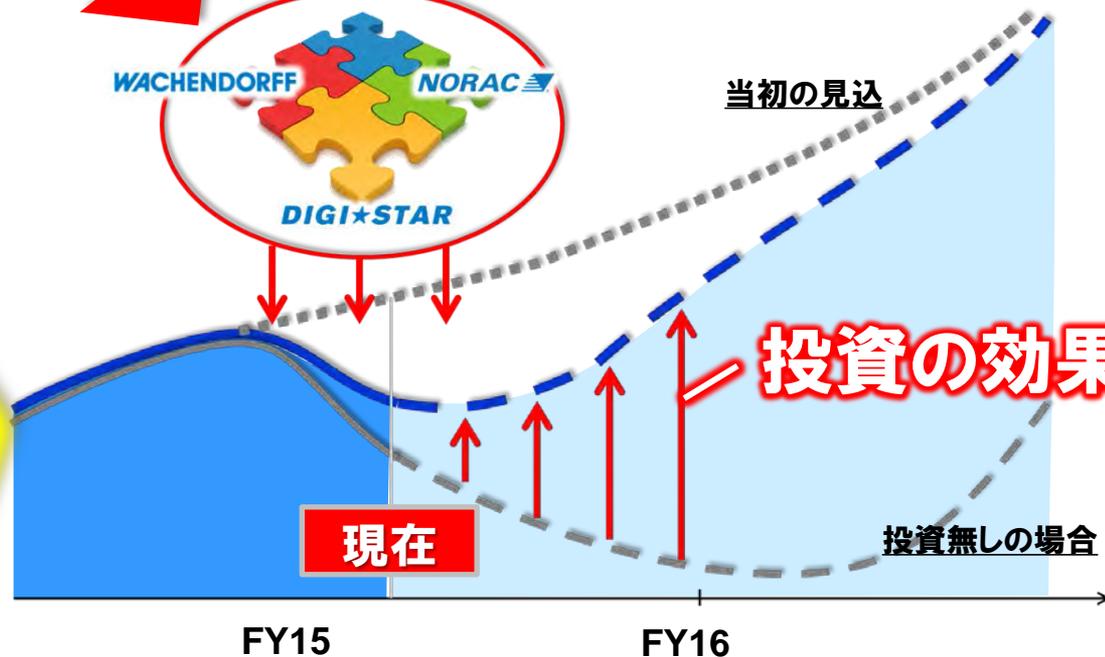


穀物価格と農業市場推移

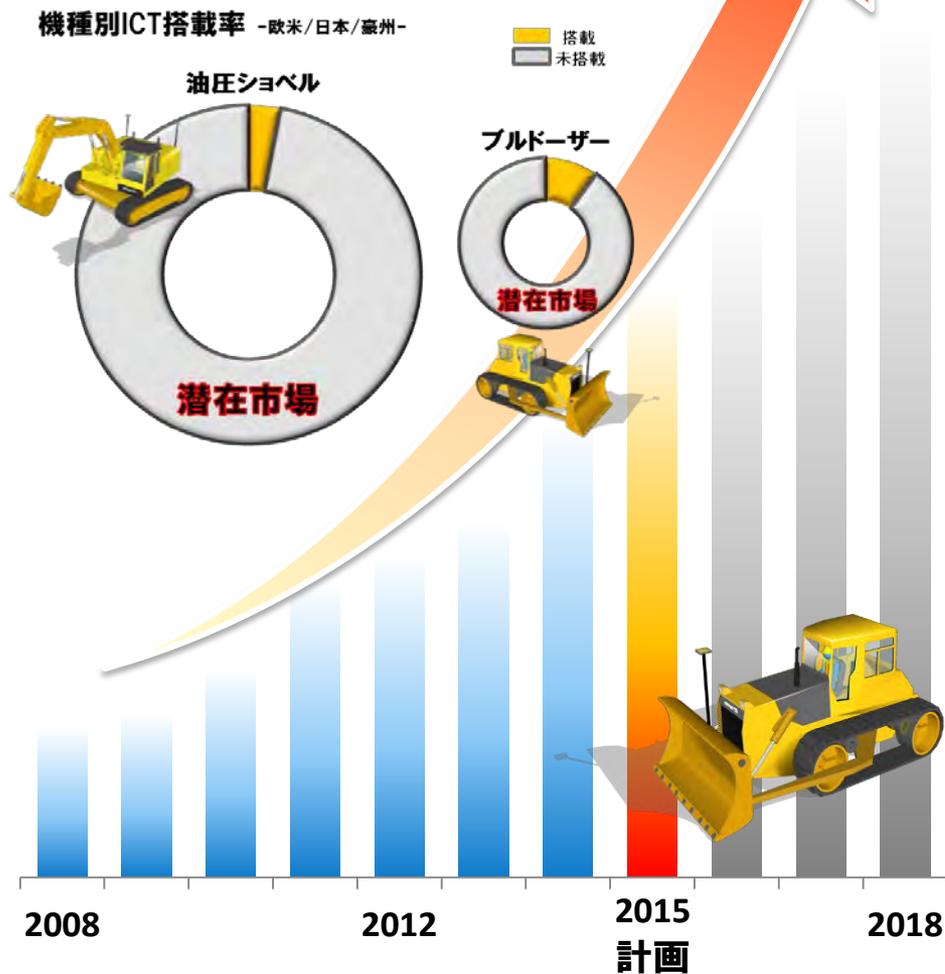


当初の見込

投資の効果



ICT自動化施工事業の 売上推移と見込(全世界)



ICT自動化施工事業は 引き続き伸長

- ① 巨大な潜在市場へ**売上加速**
- ② **革新的技術**を備えた
新製品をリリース計画 
- ③ **OEM**の拡充 

新製品の投入 <革命的製品投入でマーケットを再活性化>

Positioning

2015年

2016年

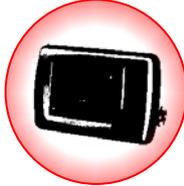
4月

7月

10月

1月

3月

<p>GPS</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>GCX2 革命的GNSS受信機</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>NET-G5 448チャンネル 準天頂・Beidou対応</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
<p>MC & AG*</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アスファルト転圧管理システム (C-63)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

* MC=マシンコントロール
AG=農業